

視覚障がい者のための VoiceOver 入門講座テキスト：第2単元

第2単元 Siri を使ってメールの送受信と簡単な文字入力

目次

はじめに	19
2-1 Siri を使ってショートメッセージを送受信	19
(1) メッセージを送信する	19
(2) メッセージを確認する	20
2-2 Siri を使ってメールを送受信	21
(1) メールを送信する	21
(2) メールを確認する	22
2-3 文字入力（その1）ジェスチャーで数字を入力	22
2-4 文字入力（その2）音声入力で文章を入力	23
(1) 音声入力のための設定	23
(2) 音声入力をする	24

はじめに

メールをジェスチャーによって送受信することは、入門者にとっては高いハードルです。第5単元でジェスチャーによるメールの送受信を学ぶ前に、まず、Siri でメールの送受信の方法を学習し、メールに慣れておくことが大切だと思います。

ジェスチャーによる文字の入力は、複雑で煩雑な操作なので、まず、電話のキーパットを使って数字の入力の練習をします。顔認証（FaceID）や指紋認証（TouchID）を利用するためには、スムーズに数字入力ができることが条件となります。

音声入力で文の入力練習をしますが、一般的な文章であれば容易に入力できることを実感してください。同時に、どのような場合に音声入力が困難であるかも学習しましょう。

2-1 Siri を使ってショートメッセージを送受信

ここでは、ショートメッセージと E メール送受信を行う前に、E メールとショートメッセージの違いについて簡単に説明します。

ショートメッセージは、相手の電話番号にメッセージを送るのに対して、E メールは、メールアドレスにメッセージを送ります。

ショートメッセージは、メッセージアプリを用いて送受信を行いますが、メッセージの文字数が約 600 文字までなどの制限があります。電話番号がわかれば、メッセージを送信できるので、手軽に使用できます。一方、E メールは、メールアプリを用いて、メッセージのほか写真や文書などファイルも送受信ができます。

(1) メッセージを送信する

Siri にリクエストする場合、途切れずにリクエストするためには対話形式で行うのがコツです。

次の手順でメッセージを送ります。

- ・ホームボタンまたはサイドボタンの長押しをして、Siri を起動します。
- ・“メッセージを送って” とリクエストします。
- ・「誰に送信しますか？」と Siri がたずねてきます。
- ・“〇〇さん” と応えます。なお、〇〇さんは、連絡先に登録されていないといけません。ここでは、「自分の名前」または「自分」と応えます。
- ・「どんなメッセージを送信しますか？」と Siri がたずねてきます。
- ・例えば、“メッセージの送受信の練習をしています” と応えます。
- ・送信するメッセージを読み上げ、「送信しますか」とたずねてきます。
- ・今回は練習なので、「いいえ」と応えます。送信がキャンセルされます。
- ・修正したい場合は、「変更して」と応えると、メッセージを最初から入力

することができます。また、追加した場合は「追加して」と応えます。

使えるリクエストコマンドは次のとおりです。

・コマンド：「変更」「追加」「はい」「いいえ」

Siri から「何々しますか？」との問いかけと同時に本体が振動することも確認しましょう。

■Line アプリでのメッセージの送信

Line でメッセージを送信する場合は、「Line でメッセージを送信して」とリクエストします。「Line の友だちリストにアクセスしてよろしいか」とたずねてきますので、「はい」と応えます。

このように、リクエストに「Line で」という言葉を入れるか、入れないかによって、メッセージアプリと Line アプリを使い分けすることができます。

もし、メッセージアプリで送信しようとしても、Line アプリで送信してしまう場合は、次の設定で Line との連携をオフにします。

「設定」>「アプリ」>「Line」>「Siri へのリクエストと一緒に使用」ボタン：ダブルタップしてオフにします。

練習) 連絡先に登録している相手に次の4つの文を送信しましょう。

「こんにちは」「お元気ですか」「私は元気です」「〇〇より」

「追加して」リクエストを使って、全文を入力できましたか。

(2) メッセージを確認する

うまく送信できたか、確認してみましょう。

- ・Siri に、「メッセージを確認」とリクエストします。
- ・未読の最新のものから順に、読み上げられます。
- ・1件ごとに「返信しますか」とたずねてきますので、「はい」または「いいえ」で応えます。
- ・「はい」と応えた場合、返信の内容を伝えます。
- ・読み上げを中止したい時は、「中止」と応えるのも同じです。

既読のメッセージを読みたい場合は、「既読のメッセージを読んで」とリクエストすると、最新のメッセージから順に読んでくれます。

また、特定の相手のメッセージを読んでもらうこともできます。「〇〇さんからのメッセージを読んで」とリクエストします。

練習) 特定の相手のメッセージを読み上げましょう。

うまく読み上げることができましたか。

補足) Siri が読み上げている途中でのリクエスト

メッセージが長い場合、Siri の読み上げに時間がかかります。読み上げ中にユーザーがリクエストをすることもできます。ホームボタン（ホームボタンのない機種では、サイドボタン）を長押しすることで、本体の振動があり、リクエストの受け付け状態となります。そこで、「次」とリクエストすると、次のメッセージを読み上げます。

また、Siri の問いかけに、ユーザーの応答が遅れた場合、Siri は受け付けを終了してしまいます。その場合も、ホームボタン（ホームボタンのない機種では、サイドボタン）の長押しで、Siri の再開ができます。

2-2 Siri を使ってメールを送受信

メールの使い方は、ショートメッセージの使い方と基本的には同じです。ただ、メール内容が「件名」と「本文」から構成されている点が異なります。

(1) メールを送信する

メールを送信する場合も、Siri に対話形式でリクエストを行うとやりやすいです。手順は次のとおりです。

- ・Siri を起動します。
- ・「メールして」とリクエストします。
- ・「どなたに送信しますか？」とたずねてきます。
- ・「〇〇さん」と応えます。
- ・「件名は何にしますか？」とたずねてきます。
- ・件名を応えます。
- ・「本文は何にしますか？」
- ・本文を応えます。
- ・「送信してよろしいですか？」とたずねてきます。
- ・「はい」「いいえ」で応えます。

本文が長文の場合、1文ずつ入力することがコツです。1文を入力した後、「送信してよろしいですか？」の質問に対して、「本文に追加」と応えます。

「本文に追加」は、何回も使えるので、少々長文も入力できます。しかし、文の順番を変えることはできません。

送信相手が2つ以上のメールアドレスを登録している場合、「どちらのメールアドレスに送信しますか？」との質問があるので、「自宅」「勤務先」などと応えます。うまくいかないことも多々あります。

練習) メールで「自分」に次のメッセージを送信しましょう。

メッセージ内容:「本日はスマホ入門講座を受講しています」
うまくいったら、Siri が最後に「送信します」と言います。

(2) メールを確認する

次の手順でメールの件名や本文を読み上げます。

- ・「メールを読んで」とリクエストします。
 - ・未読のメールを新しいものから順に、件名のみ読み上げてくれます。
 - ・1件の件名を読み上げた後、振動があります。
 - ・振動の後、次のメールの件名を読み上げる場合は、「次」とリクエストします。
- 本文を読み上げる場合は、「読んで」とリクエストします。何もしないで
おくと、次の件名に移ります。
- ・本文を読み上げた後、「返信しますか?」とたずねてきます。「返信」と応
えると、返信の内容を入力するよう促されます。

Siri が話している途中で、ホームボタンを長押しして「次」、とか「中止」、
等の支持をすることも可能です

練習) 自分に送られたメールの本文を読んだ後、次の内容を返信します。

返信内容:「入門講座はよく理解できましたか」
うまくできましたか。

2-3 文字入力(その1) ジェスチャーで数字を入力

iPhone の操作中にパスコードの入力を求められることがあります。数字の
入力には慣れておく必要があります。

ここでは、電話アプリの数字キーパットを使用して、数字の入力の練習を
行います。数字キーに移動してダブルタップを行うことでその数字が入力さ
れます。また、ダブルタップの代わりに、スプリットタップという方法もあ
ります。

次の手順でキーパットの数字キーなどを確認します。

- ・電話アプリを起動します。
- ・画面下部のタブバーに移動します。
画面下部中央(またはホームボタン)からゆっくりと人差し指をスライド
させます。
- ・タブバーで右、左スワイプをして、「キーパッド」タブに移動し、ダブル

タップします。キーパッドが表示されます。

- ・何か数字を読み上げるまで、画面中央部をタップします。
- ・右、左スワイプを行い、どのように数字が並んでいるかを確認します。また、発信ボタンがあることも確認します。数字が入力されると削除キーが発信ボタンの次に表示されます。

数字の入力は次の手順で行います。

- ・右、左スワイプで目的の数字キーまで移動します。
- ・ダブルタップします。その後、入力された数字が読み返されます。
- ・これを繰り返します。

スプリットタップは次の方法で入力します。スプリットタップはダブルタップと同じ機能を持っています。

- ・両手の人差し指を使用します。
- ・例えば、右手の人差し指をスライドさせて、目的の数字に移動します。
- ・その指は押さえたままにして、左手の人差し指でタップします。これで数字が入力されます。

なお、スプリットタップでは、押さえた指がずれると、別の数字が入力されます。数字が読み上げられるとすぐにタップするなどの工夫が必要です。

練習) 0120-929-818 (UQの自動応答電話) を入力してください。

サポーターに数字を読んでもらい、入力しましょう。

うまくできましたか。

2-4 文字入力 (その2) 音声入力で文章を入力

(1) 音声入力のための設定

音声入力では、英語と日本語を利用できますが、日本語を発話しているのに、英語のテキストになることがあります。英語のキーボードが表示されている場合は、音声入力の言語は英語になります。

そこで、どのような状態でも日本語のテキストにするため、音声入力の言語を日本語だけにします。手順は次のとおりです。

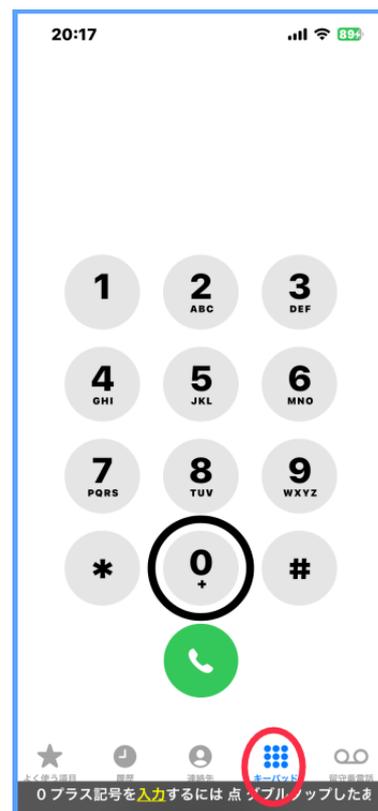


図 電話アプリのキーパッド画面

- ・設定アプリ > 「一般」> 「キーボード」に進みます。
- ・右スワイプで進み、「音声入力を有効にする」切り替えボタンがオンになっていることを確認します。
- ・「音声入力言語」ボタンをダブルタップします。
- ・日本語が選択中になっていることを確認します。
- ・英語（日本語）が選択中になっている場合は、ダブルタップをして選択を外します。

(2) 音声入力をする

■テキストフィールドの準備

文字や数字を入力できる場所をテキストフィールドと言います。テキストフィールドで1本指ダブルタップすることで、「編集中」となり、入力が可能になります。同時に、スクリーンキーボードが画面下半分に表示されます。

ここでは、メールアプリの「新規メッセージ」画面の本文テキストフィールドで、音声に入力の練習を行います。

- ・メールアプリを起動します。
 - ・画面右下のツールバーの「新規作成」ボタンをダブルタップします。
 - ・宛先コロン、テキストフィールド、編集中、先頭に挿入ポイントと読み上げがあります。
 - ・右スワイプを4回行います。「メッセージ本文、iPhone から送信、テキストフィールド」との読み上げがあります。
 - ・1本指ダブルタップを行い、編集中にします。
 - ・「先頭に挿入ポイント」との読み上げがあります。
- これで入力が可能になりました。

■音声で入力を開始、終了

次の手順で音声入力を行います。

- ・音声入力を開始するためには、2本指ダブルタ



図 設定アプリのキーボード：音声入力の設定



図 メールアプリの新規メッセージ画面

ップをします。

- ・「ポン」という音を確認します。これが話し始めるタイミングです。発話した内容がテキストで入力されます。
- ・発話が終わると、すぐに2本指ダブルタップで音声入力を終了させます。
- ・同時に、「ポン」という音の後、「挿入された XXXXX」と入力された文章が読み返されます。
- ・この読み返しが無い場合は、音声入力が続いていますので、再度2本指ダブルタップを行い、読み返しを確認します。
- ・再度、音声入力を行うと、前の文に追加されます。

次に入力した内容を確認します。

- ・右スワイプして、左スワイプして本文テキストフィールドに戻ると、本文全体を読み上げます。

なお、行単位、単語単位、文字単位で読み上げ、編集することもできますが、「第5単元 5-4 簡単な文章の編集」で取り扱います。

一般的な文を音声で入力する場合、漢字の間違いもなくほぼ正確なテキストに変換されます。一方、人の名前などは漢字が異なることも少なくありません。

ひらがなで入力したい場合は、「あ」「い」「う」と1文字ずつ区切って発話すると入力できます。

■句読点や記号の呼び方

「。」や「、」は自動で挿入されますが、音声入力することもできます。次に、音声入力のための句読点や記号の呼び方を記します。

□ 句読点

- ・呼び方： 句読点
- ・マル： 「。」
- ・テン： 「、」
- ・カイギョウ： 改行される。
- ・タブキー： スペースが挿入される。

□ 記号

- ・カッコ、カッコトジ： 「()」
- ・かぎカッコ、かぎかっことじ： 「 」
- ・ころん： 「:」
- ・せみころん： 「;」
- ・ビックリマーク： 「!」

- ・クエスチョンマーク：「？」
- ・ナカグロ： 「・」
- ・スラッシュ： 「/」
- ・アットマーク： 「@」
- ・ドット： 「.」
- ・エンキゴウ： 「¥」
- ・ニコニコマーク： 「☺」
- ・ウイंक： 「; ー)」
- ・ハッシュタグ： 「#」

練習) 次の文を音声入力します。

カギカッコ 4番 テン サード テン 長嶋 カギカッコトジ とアナ
 ウンスが流れた マル カイギョウ
 懐かしい テン 昭和の時代の野球中継でした マル
 改行や句読点がうまく入力できましたか。

補足 1) 連絡先に登録している名前

連絡先に登録している名前を音声入力すると、間違いなく、連絡先に登録された漢字に変換されます。それは、音声入力では第 1 に連絡先を参照して漢字を決定しているようです。

連絡先には、人の名前だけでなく、一般的な単語や動詞も登録できますので、よく使う単語を登録するのもよいかと思います。

補足 2) 漢字変換の間違いを少なくする工夫

音声入力は決まった漢字変換しか行いません。間違った漢字を音声入力では修正することはできませんので、入力時に工夫をします。

例えば、「武田 (ブシのタケダ)」を入力の場合、「タケダヤクヒン」と音声入力し、その後、「薬品」を削除します。一方、「竹田 (タケのタケダ)」を入力する場合、「タケダジョウ」と音声入力し、その後、「城」を削除します。